

資料と公共性 : 2021年度研究成果年次報告書

岡崎, 敦

九州大学大学院人文科学研究院 : 教授

池上, 大祐

琉球大学国際地域創造学部 : 准教授

今井, 宏昌

九州大学大学院人文科学研究院 : 専任講師

多川, 孝央

九州大学情報基盤研究開発センター : 准教授

他

<https://doi.org/10.15017/4772780>

出版情報 : 2020-03-07. 九州大学大学院人文科学研究院

バージョン :

権利関係 :

目次

0. 「資料と公共性」共同研究の趣旨と2021年度の活動.....	1
1. シンポジウム「遠隔から考え直す歴史教育実践」	5
岡崎 敦 「遠隔から考え直す歴史教育実践」について	7
池上大祐 遠隔による歴史教育の現状と課題—琉球大学における授業実践—	9
今井宏昌 遠隔がつなぐ高大連携 —「コロナ禍」におけるグローバルな歴史実践をめざして—.....	14
多川孝央 学習・教育環境の将来についての考察 —『遠隔』から考え直す学習とコミュニケーション—.....	21
2. 「公共史」研究会	29
剣持久木 公共史の射程—国境を越える歴史博物館に向けて—	31
平田哲也 剣持報告へのコメント—学生の視点から公共史を考える—.....	46
青山詩乃 パブリック・ヒストリーとは何か.....	49
3. シンポジウム「情報管理組織のミッションと専門職養成」	63
岡崎 敦 情報管理組織のミッションと専門職養成.....	65
大沼太兵衛 デジタル環境下における情報専門職の専門性の検討 —デジタルアーカイブを軸として—.....	68
平野 泉 アーカイブズ／アーキビストと公共性／社会正義	77
渡邊由紀子 大学図書館のミッションと人材養成の課題 —現場からのコメント—	96
清原和之 つながりのなかにあること／つながりをつくること —情報管理専門機関と専門職の新たな役割—	105
執筆者紹介	